

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	主任の役割を浸透させ、主任会議を有効に機能させることにより、年々着実に事業所が目指す民主的で活力のある運営が実現してきている
	内容	事業所では、現場の業務、人事等の管理者として、各班に主任及び副主任を配置し、毎月1回主任会議を開催している。日常的な業務遂行、利用者支援から管理運営関係や各種規程関係まで、原則として全ての事項について主任会議に提案し、話し合い、決定しており、徹底して情報をオープンにしている。主任の役割について分かりやすく明文化し毎年度確認合っているが、いかに事業所が主任及び主任会議を重視しているかがうかがえる。こうした努力により主任会議等が有効に機能し、年々着実に事業所が目指す民主的で活力のある運営が実現してきている。
2	タイトル	個別支援計画に対する目標を利用者と共有し、利用者と職員が目標を常に確認しながら支援を行っている
	内容	個別支援計画を作成する際に、面談等で得た情報を活用して利用者と職員が目標設定を行い、お互いに確認している。その支援計画に基づいて支援を行うが、その際に日々の活動状況や支援状況を日常支援記録に記入している。その記録から支援の進捗状況を確認し、定期的な利用者との面談に役立てている。利用者自身も面談の際に、ふりかえり表に自己評価を記入し、職員も各記録から評価を行い、お互いの評価を確認してさらなる目標設定を行っている。このように、利用者と職員が目標を共有し、進捗状況をお互いに確認して支援が行えるようにしている。
3	タイトル	利用者は生きがいを持って仕事に従事し、職員は個々の利用者に寄り添いながら、温かな支援をしている
	内容	基本方針として「障がい者が働くことの意義、生きがいを感じられるよう支援する」を掲げている。利用者は、個別支援計画作成時に計画目標として、仕事のことや体のこと等の取り組みを自ら伝えている。職員は日々、利用者とは気軽に話し合える・相談し合える関係性の構築や、一人ひとりの性格や心の変化などを感知し、寄り添いながら行動を共にしている。利用者からは、「仕事を教わる時に充実した気持ちになる」「職員から大切にされている」「皆で助け合って頑張っている」等の意見が寄せられている。利用者満足が高く、方針のねらいを達成している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	ヒヤリハット報告を本格的に施行するなど、事故防止対策を拡充することに期待したい
	内容	作業中の事故や移動中の自動車事故等が発生したときは、直ぐに事務所に連絡することを徹底している。事故が発生すると、事故報告書を作成した上で、主任会議で再発防止策を話し合っている。ヒヤリハットについては特定の報告様式はなく、事故と同一の様式で報告することとしている。昨年度、一昨年度の報告件数は2件であり、ヒヤリハット報告としては少ない状況となっている。ヒヤリハット報告を本格的に施行するとともに、その他の点検表による定期安全点検の仕組みも取り入れ、事故防止対策を拡充することに期待したい。
2	タイトル	事業所PRや広報活動をより積極的に行う事で、事業所の情報提供範囲がさらに広がる事が期待される
	内容	事業所は、パンフレットやホームページを作成しているが、広報活動に改善の余地がある。パンフレットの配布先は区の事業所説明会等で配布されているが限定的な部分もあり、配布先の拡大を行う事で様々な方に事業所を知ってもらうことが期待される。また、利用者が作成に関わっているホームページについても、それをPRする事で多くの方に閲覧して頂けることが期待される。今後、事業所の計画としては、移転に伴いホームページやパンフレットのリニューアルを検討しており、広報活動も積極的に行う計画もあることから、これからの進展が期待される。
3	タイトル	それぞれ作成されているマニュアルを集約・整備して行く事で、さらなる業務の効率化と明確な業務手順が示される事が期待される
	内容	事業所には、各現場ごとの業務マニュアルや緊急マニュアルに相当する緊急ファイル等を整備・運用しているが、事業所としての総合的なマニュアルの整備や点検・見直しの手順が明確にされていない。現在作成されている各種マニュアルや必要に応じたマニュアルの作成を行い、点検や見直しの手順や時期を現在行っている内容等をマニュアルに明文化し、現在のマニュアルを集約・整備して一つのマニュアルとして活用されて行く事に期待したい。職員が参考にしやすいマニュアルとすることで、さらなる業務の効率化・標準化につなげていくことが期待される。